

## 5 / 6 (ろくぶんのこ)

7月20日

No. 11

藤沢市立長後中学校

## 受験生として知ってて当たり前のこと～募集案内のトリセツ②～

## 6～9ページ わかっておくべきいくつかのポイント

Q&Aの方式で、いくつかポイントを整理してくれてあります。必ず分かっておくべきことをいくつか確認します。

①まずは「学区」について募集案内p 6参照。横浜市立や川崎市立の高校(金沢高校とか南高校など)を受ける場合、学区制限があり、募集定員の数%(8%とか30%とか、学校によって変わりますが)以内しか合格できません。

②第2希望について募集案内p 8参照。磯子工業高校(機械科と電気科と建設科と化学科がある)など、複数の科を持つ高校を受ける場合、第2希望まで選ぶことができます。第1希望が不合格でも、第2希望で合格することがあります。ですから、複数の科を持つ高校を希望する人は、第2希望まで考えて高校見学などに参加するといいいですね(必ず希望しなくてもよいことになっています)。



## 13～31ページ 合格者の決まり方

みんなにとって一番気になる「選考基準」が載っています。「選考基準」というのは、それぞれ、**各高校が何を基準に受検者を判定して、選ぶのか**、どうやって合格者を決めるのか、ということです。

①学校によって多少の違いはありますが、基本的には、どの高校も「調査書」「学力検査」と「特色検査」で選考されます。

②第1次選考の「比率」というところを見ましょう。選考基準全体を10割としたとき、「調査書」4割、「学力検査」6割か、両方とも5割という割合で判定する学校が多いようですが、大船高校や平塚江南高校のように「調査書」が3割、「学力検査」が7割という「学力重視」の学校もあるし、寒川高校や横浜旭陵高校のように「調査書が7割、「学力検査」が3割という、「中学校での実績重視」の学校もあります。

(藤沢市周辺の公立はp 13下段～p 14にかけて載っていますが、専門学科や単位制など分散して載っていますから、よく探してみましょう)

③p 13に戻ります。

湘南高校の選考比率は、調査書4、検査6、さらに特色が2となっています。つまり合計12割になります。

④第1次選考と第2次選考について確認します。②に書いたような比率で「調査書+学力検査+(特色検査)」定員の9割まで選ぶのが「第1次選考」です。残り定員の1割を選ぶのが「第2次選考」です。多くの高校は「学力検査」8割、「主体的に学習に取り組む態度」2割となっていますが、藤沢西高校のように、「学力検査」6割、「主体的に学習に取り組む態度」4割という高校もあります。

⑤たとえば定員が300人だったら、第1次選考で270人、第2次選考で30人選ぶということです。学校の成績的に(A点が低い)かなり厳しい状況にあっても、学力検査で、圧倒的に周りに差をつけられるくらい点が取れる自信のある人は、この「第2次選考ねらい」で、A点を基準とした学校より高いところを受検する、という考え方もあります。

⑥「重点化」についても知っておかなければなりません。たとえば、大和西高校(p 14)の「重点化」という項目を見てください。【調】英(×2)と書かれています。これは、中学校の成績=調査書のうちの、英語の点数だけ2倍にして計算します、ということです。つまり、この学校では、内申点(A点)は本来1

35点満点のところ、英語だけ倍なので、15点加えて、150点満点になるということです。英語が他の教科よりいい、という人には有利だし、逆にそうでない人には不利になります。



## 19ページ 通信制高校という選択肢

全日制・定時制の他に「通信制高校」という選択肢もあります。

通信制高校は、毎日学校に通うのではなく、自宅で学習したり、外で働いたりしながら、高校と課題やメールのやりとりをして、そこで「レポート」や「試験」をこなし、高卒の資格を取る学校です。

ただ、それだけではなく、月に数回は学校に通って（これをスクーリングという）講義を受けたり、レポートの指導を受けたりすることもあります。実施する検査は作文です。

## 10ページ 調査書のこととも理解しておこう

中学校から受検する高校などへ提出する、生徒個人の成績などを記したものを「調査書」と言います。

①左側に「学習の記録（いわゆる‘成績’）」が載ります。もちろん、ここで使われる数字は、2年の学年末のものと、3年の12月のものになります。

②右側の2/3くらいを占めるのが、いわゆる「所見」という部分で文章で書きます。

### ③特別活動の等の記録

部活動・委員会・学級活動・行事での、その人の活動内容や役割などの事実を書きます。

### ④行動の記録及び所見

「日頃の生活・行動の状況」を書きます。その人にどんな特徴があるのか、その人が、何をがんばってきたか、などを伝えます。

⑤「どんなことを書かれるのだろうか？」と不安に思う人もいるかもしれませんが、でも、先生たちは、すべての生徒について、その人の「よいところ」を書きます。部活や、委員会や、係や、掃除や、学習面や、学校生活の中で、その人が頑張っている部分を取り上げて、短く、整理して伝えます。目立つ役割でなくても、例えば黒板係を丁寧にやっていれば、それを書きます。

だから、心配する必要はありませんし、また、この文章によって、あなたの入試における「評価」が上がったり下がったりすることはありません。

**この学年の生徒は、みんなまじめで素直で、学校の様々な活動に、前向きに取り組んできました。ですから、みなさんは、今まで以上に、全力で充実した中学校生活を送ってください。**

●募集案内p35～39には大事な経済面の話が載っています。保護者の方と相談し、よく読んでください。もし、お聞きになりたいことがありましたらご相談ください。

●大切な冊子です。記名のうえ持ち帰り、受検が終わるまで大切に保管しておいてください。

## シリーズ：心の支えになる言葉⑧

イギリスのシンガーソングライター ジョン・レノンさんの言葉から

～ ぼくがこれまでどうやってきたかは教えられないけど、  
君がこれからどうするかは、自分で考えなきゃ。～



### 解説

ほかの人にはできないことをなしとげる人は、たいがい優れた言葉を残しています。ぜひ、そういった言葉を受け止めて、いくつかを自分の生きる糧（かて=栄養）にしましょう。

でも、私たちも、みんな必ず、いつかどこかで「自分にしかできないこと」を見つけるのです。そして、それをなしとげたとき、自分なりの「言葉」が見つかるはず。人のためでもなく、誰のまねでもない「進路」を見つける、ということも、みんながなしとげるべきことのひとつです。

（文責 進路担当：清川）